



テーマ「学校を元気にする特色ある児童会活動」

日立市立久慈小学校

1 はじめに

(1) ねらい

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせながら、児童がよりよい自分自身と学級・学校生活、人間関係をつくる活動の実践。

(2) 久慈小学校の児童会の組織について

久慈小学校では7つの委員会の長と、3年生以上の各学級の代表児童（学級委員）で代表委員を組織し、学期に数回、学校行事や児童会行事について話し合ったり、各委員会から各学級へのお知らせをしたりしている。委員会ごとに、学校行事や強化月間を運営することで、児童の思いを反映し実現する児童会活動を展開できるようにした。

2 今年度実施した主な実践内容

(1) 児童会での取り組み

4月の「1年生を迎える会」では、代表委員の児童が中心となって実施し、久慈小学校の歴史を伝えたり、プレゼント贈呈を行ったりして1年生をお祝いすることができた。7月には創立記念集会を実施



【1年生を迎える会の様子】

し、久慈小学校の卒業生でもある校長先生から、久慈小学校や久慈町の歴史についてお話をいただいた。企画として「久慈小自慢」を実施し、クラス毎に考える久慈小学校の良さを発表し合うことで、久慈小学校の良さを再確認する機会となった。2学期は、新型コロナウイルス感染症拡大予防を考慮し「文化体験交流会」を実施することはできなかったが、3学期には代表委員が中心となって運営する「6年生を送る会」が予定されている。

(2) 各委員会での取り組み

委員会ごとの実践としては、運動委員会で、久慈小の児童が安全かつ円滑に持久走大会の練習に取り組めるよう、ライン引きや落ち葉集めを行った。久慈小学校では昨年度から、各学級で友達からしてもらってうれしかったことやその日の出来事で良いと感じた内容をハート型の用紙に書き、「あったかハートの木」に貼っている。放送委員会が、その各学年であった心温まるエピソードを、毎日給食の時間に放送することで、全校児童の他者を思いやる気持ちを育てる取り組みをしている。また、保健委員会が中心となって「清掃強調週間」を毎学期末に位置づけ、普段の清掃場所以外に重点清掃箇所を決めて清掃することで、昨年完成した新校舎を大切に、きれいに使っていこうという気持ちを高める活動も行っている。



【清掃強調週間ポスター】

3 成果と課題

感染症対策を行った上で、例年取り組んできた行事や児童会活動、委員会活動を何とか実施することができている。今後は、学級数の減少から高学年児童や担当の負担が大きくなってきていることも踏まえ、規模を縮小したり、内容を精選したりしながら今後の特別活動を機能させていきたい。

